

このマップは、静岡県が第4次地震被害想定として公表（平成25年6月）した資料をもとに、レベル2の最大クラスの津波による浸水の区域（浸水域）及び水深（浸水深）を表したものです。

想定対象地震

区分	内容	駿河・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル1の地震・津波	発生頻度が比較的高く(約100年~150年に1回程度)発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波	東海地震、東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震 (マグニチュード8.0~8.7)	大正型関東地震 (マグニチュード8.0程度)
レベル2の地震・津波	発生頻度が極めて低いが(約1000年~数千年に1回程度)、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波	南海トラフ巨大地震 (マグニチュード9.0程度)	元禄型関東地震 (マグニチュード8.2程度)



浸水想定の留意事項

- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防は地震動により破壊されるという設定です。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防は地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという設定です。
- ※上記の条件は、最悪の事態を想定したものであり、実際の地震において堤防がすべて壊れるということではありません。
- ・これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。浸水しない地域も、津波や浸水の危険性が全く無いということではありません。
- ・浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物などの影響により、浸水区域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。